

児童クラブ運営事業に係るサウンディング型市場調査
【結果の概要】

令和8年1月
松山市こども家庭部
こどもえがお課

1. 応募状況

- 今回、3者から応募がありました。

2. 主な意見

- 各項目について、主に次のようなご意見等をいただきました。

① 市場性(参入意欲)の有無
・ 参加者から事業参画に対し、前向きな意見がありました。
② 実施可能な事業手法(一括で受託する施設数や事業期間など)
・ 施設数は、自治体の状況等にあわせて対応できるとの意見がありました。 ・ 一括発注や分割での発注、事業期間等に対して、他自治体での事例を踏まえたメリットやデメリットを確認することができました。
③ 人材確保(確保の方法や現在勤務している職員の雇用継続への考え方など)
・ 現在働いている職員について、希望者は継続雇用することが想定されとの意見がありました。 ・ 他にも独自のノウハウ等を活用し、人材を確保していくことができるとの意見がありました。
④ 導入へのコスト想定(見積金額)
・ 事業者毎に想定する体制での想定費用について、確認することができました。 ・ 支援員の賃金については、近隣自治体や類似事業などの状況を考慮するほか、働きたいと思える仕事として見合った金額設定を希望する意見がありました。
⑤ 事業実施にあたっての課題・条件
・ 運営体制を確保し、利用者ニーズに応えながら支援の質を高めていくためには、常勤職員や、全体を統括する職員の配置が望ましいとの意見がありました。
⑥ 公募条件への要望・その他必要な事項 など
・ 他自治体での事例を踏まえた、自治体側が留意すべき事項や、受託者目線での要望事項などを確認することができました。

3. 今後の方向性

- いただいた意見等を踏まえ、本市での導入可能性や課題等を整理し、今後の施策検討の参考とさせていただきます。